

第2章 研究の目的と方法

本研究は、平成 28 年度からの 5 年間の基幹研究（横断的研究）「我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究」の 3 年目及び 4 年目となる研究である。

1. 研究の目的

平成 30 年度、令和元年度における本研究の目的は以下のとおりである。

1. 研究協力機関で「インクル COMPASS（試案）」を試行し、園・学校現場の実情に即した「インクル COMPASS（試案）」の内容の改善を図る。
2. 「インクル COMPASS（試案）」の使用方法について検討する。
3. 研究協力機関における「インクル COMPASS（試案）」の使用事例とインクルーシブ教育システムの構築及び推進に関わる園や学校での主体的取組に関する事例を収集する。

2. 研究計画・方法

(1) 1 年次(平成 30 年度)

①「評価指標(試案)」の内容項目についての検討

チーム内、所内（関係部署・研究チーム）での検討
研究協議会での検討

②「インクル COMPASS(試案)」の作成と改善、研究協力地域での試行による使用方法の検討

作成した「インクル COMPASS（試案）」について研究協力機関である 3 地域（静岡県賀茂郡松崎町、神奈川県横浜市、千葉県船橋市）の教育委員会及び園・学校での試行

上記 3 地域における地域研究協議会での意見聴取とその意見を基にした「インクル COMPASS（試案）」の改善と使用方法についての検討

③研究協議会の開催(1回)

平成 30 年 9 月 27 日（木）

④地域研究協議会の開催(3地域において1回ずつ)

静岡県賀茂郡松崎町 平成 31 年 1 月 16 日（水）

千葉県船橋市 平成 31 年 1 月 23 日（水）

神奈川県横浜市 平成 31 年 2 月 13 日（水）

(2) 2 年次(令和元年度)

①「インクル COMPASS(試案)」解説リーフレットの作成

園・学校における「インクル COMPASS（試案）」の円滑な使用を目的として、その使用の仕方（流れ）や「インクル COMPASS（試案）」中に記載しているインクルーシブ教育システムに関する諸用語の解説をまとめたリーフレットの作成

②研究協力機関での「インクル COMPASS(試案)」の使用

研究協力機関である3地域（静岡県袋井市、神奈川県横浜市、千葉県船橋市）の園、小・中学校、高等学校、特別支援学校計15園・校における「インクル COMPASS（試案）」の活用事例の収集

③研究協議会の開催(2回)

第1回：令和元年5月24日（金）

研究チームメンバーと所外研究協力者で実施

令和元年度の研究計画及び研究内容、各園・学校での「インクル COMPASS（試案）」の試行について

第2回：令和元年11月27日（水）

研究協力者及び研究協力機関（教育委員会、教育センター、園、小・中学校、高等学校、特別支援学校 計18名）が出席

「インクル COMPASS（試案）」の活用事例と活用可能性についての協議

④「インクル COMPASS」の理解・啓発及び普及を図るためのリーフレットの作成

（星 祐子）